

ゴミ拾いボランティア活動で 環境美化の推進

新潟県長岡市 長岡クリーンクラブ

活動の始まりと

徐々に増加した活動参加者

きれいな場所にはゴミを捨てない。

きれいな場所は自分たちで守っていく。

25年間、地域のゴミを拾ってきた。そして、5年前からはゴミ不法投棄場所に花壇を整備。きれいになってポイ捨てゴミはほぼゼロに。

この活動をしているグループは、長岡クリーンクラブといえます。活動の始まりは、この会の代表を務める品田秀男個人の「ゴミ拾いボランティア活動」から始まりました。平成7年に会社を退職後、ウォーキングに出かけたりすると、住まいの近辺や道路など

でゴミがあまりに多く散乱しているのが目に入ってくるようになりました。見るに見かねて一人でゴミ拾いを始めました。

最初は少人数で活動していたのですが、活動を続けるうちに口コミで協力者が段々増えて、今では総数21名となりました。

協力者増加により会の名称を変更

グループ名について、当初は代表者の住む地区の名称を付けた「豊田地区清掃ボランティア」というものでした。その後活動に参加する人も増え、活動範囲も長岡市の相当広いエリアとなったことから名称変更をすることになりました。平成27年1月の総会で意見を募集し、その結果、「長岡クリーンクラブ」



国道脇でのゴミ回収作業。長岡市内の道路脇延べ76.9kmで活動中



と変更しました。

市の助成でユニホームの作成 ―作業の際に着用

ユニホームの作成についても、会員の意見を取りまとめて決定しました。一つの意見は、自分たちはボランティアの活動としてやっているのだから、ユニホームを着て目立つ必要はないと思う、というものです。もう一方の意見は、ユニホームを着て活動している方が、市民にゴミ問題に関心を持ってもらえる、というもので、協議の結果はユニホーム作成に決定しました。



大雨で信濃川堤防にゴミが漂着。急速、会員に呼び掛けて回収しました

作成の経費については、長岡市の市民活動推進事業補助金の制度を利用しました。市民の自主的な活動の経費を助成することで活動を支援していこうという制度です。グループの名称を入れた帽子、スタッフジャンパー（長袖と袖なし2種）20人分で20万円ほどでした。助成を受けるには市役所が委嘱した委員による審査会で活動内容を説明して合格する必要があるとあります。審査会では、「長年継続してこられた貴会の活動に敬服します。本補助金の活用で地域の方へのPRにつながり、清掃活動の輪がさらに広がることを期待します。現在の会員数の16名分で申請がありました。今後の会員数増加を加味して20人分の経費を認めます」と特に意見をいただきました。平成27年9月に揃いのユニホームが出来上がり、作業の際に着用しています。ちなみに現在の会員は21名です。

広がる活動範囲

―総延長76・9キロメートル

活動範囲は長岡市内の国道、県道、市道の道路脇で、その総延長は平成27年には約50キロメートル、その後会員の増加により活動範囲が拡大して、平成30年は76・9キロメートルとなっています。グループで自家用車に乗ってやや遠い所に出かけて作業することも



ゴミの不法投棄地となっていた草やぶの国道脇を整備し花壇として管理

あり、また個人で範囲を決めて活動している人もいます。

また、平成29年には急ぎでメンバーに呼び掛けて対応した事例がありました。

10月に長岡市の中心を流れる信濃川が、長野県に降った大雨で大増水してゴミも流れ込みました。水が引いた後には堤防の斜面にペットボトルのゴミが大量に帯状に残されたのです。このままでは、いずれ日本海に流れってしまうので、会員が集合してゴミの回収を実施しました。

拾い集めたゴミの量(50ℓポリ袋)

長岡クリーンクラブ

年度	国道関係	県道関係	市道関係	合計
17年度	283	47	36	366
18年度	425	52	230	707
19年度	381	94	145	620
20年度	351	78	137	566
21年度	335	65	76	476
22年度	280	120	70	470
23年度	230	130	80	440
24年度	140	100	80	320
25年度	120	100	80	300
26年度	110	120	80	310
27年度	145	218	97	460
(信濃川左岸フェニックス大橋～与板を活動範囲に加える)				
28年度	385	287	210	882
29年度	244	115	221	580
30年度	224	78	187	489
元年度	321	72	141	534
	3,974	1,676	1,870	7,520

●ゴミの量は少なくなりました。活動の成果だと思えます。

●28年度からは活動範囲を拡大したので、収集した量も増加しました。

態になりました。格好のゴミ不法投棄場所となり、廃タイヤ、ガラスくず、果ては神社から盗まれた賽銭箱も捨てられていました。この場所を平成22年からクリーンクラブで管理開始。ゴミを拾い、ロープを張り、看板を立て、5年間草刈りを行いました。そして、平成27年春、この場所を花壇として整備、花苗の植え付けを行いました。草藪から一転した花壇の姿は素晴らしいものでした。そして、ポイ捨てゴミはほぼゼロになりました。きれいな場所にはゴミを捨てないということですが、



花壇をきれいに管理することでポイ捨てゴミはほぼゼロとなりました

減少傾向を示した回収したゴミの量
—市民のマナーが向上—

拾い集めたゴミの量は記録していますが、平成17年からの動きでは、平成18年に長岡市の環境美化袋(50ℓ)で707袋あったものが、この年度をピークとしてその後年々減少してきています。その理由は、

①皆さんのマナーが向上してあまりゴミを捨てなくなった。

②きれいな場所にはゴミを捨てにくい。

この2点が考えられます。しかし、それでもまだかなりの量のゴミが捨てられているの

も現実です。

なお、平成28年度から活動箇所が増加したために、収集量が増加しています。

●ゴミ不法投棄場所を花壇として整備

—ゴミがほぼゼロに

畔を越える国道351号の道路脇に国が設置した植栽枠があります。平成7～8年頃に造られたもので、庭石を配し熊笹を植えこんだものでした。しかし、その後全く管理されなかつたことから平成19年にはカヤ藪となり、そんな施設があつたこともわからない状態になりました。格好のゴミ不法投棄場所となり、廃タイヤ、ガラスくず、果ては神社から盗まれた賽銭箱も捨てられていました。この場所を平成22年からクリーンクラブで管理開始。ゴミを拾い、ロープを張り、看板を立て、5年間草刈りを行いました。そして、平成27年春、この場所を花壇として整備、花苗の植え付けを行いました。草藪から一転した花壇の姿は素晴らしいものでした。そして、ポイ捨てゴミはほぼゼロになりました。きれいな場所にはゴミを捨てない

(長岡クリーンクラブ 橋 仁)

長岡市の花いっぱいコンクールにも参加し、毎年優秀賞を受賞しています。今では花の手入れを楽しみに出かけ、ついでにゴミを拾うという状況です。ゴミはほとんどありませんが。

今までのゴミを拾うだけの活動から、花壇の管理を加えたことで会員の共同作業の機会も増えて交流も深まり、活動を新聞、テレビで報道してもらったことで市民の関心も高めることができました。

きれいな場所に住むのではなく、きれいに住む、ということですが、